

稲光会報

平成9年7月1日発行
 編集者 早稲田大学稲光会
 発行所 北原輝久
 印刷 柳文化社
 第20巻第26号

華やかに50周年記念式典 快拳！男子が2種目1部復帰！



(上) パーティーの締めくくりで全員が「都の西北」の校歌を合唱し、感無量の表情で会長の挨拶を聞いた。

「これより早稲田大学フェンシング部の創部50周年記念式典を開催します。北原幹事長の力強い開会宣言、続いて金子会長の開会あいさつ。記念すべき50周年式典が約150人の出席者を集めて幕開けした。新潟の原さん、北海道の八木さん等々……遠路はるばる参集した懐かしい顔ぶれが揃った。

懐かしい顔ぶれと歴史の重み——。早稲田大学フェンシング部創設50周年の記念式典が平成8年10月13日(日)、東京・新宿区のリーガロイヤルホテル・ワセダで挙行されました。体育局関係者、他大学OB、協会来賓それに約75人の稲光会員、現役等ざっと150人が一堂に会し、盛大なパーティーとなり、心ゆくまで50年の歴史を振り返って懇親が繰りひろげられました。

ついに念願達成——。長い間2部リーグに低迷していた男子が奮起、今年度の入替戦でフルレ対拓大戦を45-36、エベ対日大戦を45-44と連勝9年ぶりに1部リーグ復帰し

快拳達成！男子一部へ

ました。最下位となった女子エベも2部中大の挑戦を退けたため、来シーズンは男女5種目中4種目を1部で戦い、サーブルを残すだけとなりました。(2、3面参照)

「早稲田大学の思い出、入替戦の話、年代によって話題はさまざま。しかし会場内は笑顔、笑顔……。50年を共に生きて来た共通の感慨があります。早大ハイソサエティ・オーケストラの演奏がいやが上にもパーティーの雰囲気盛り上げてくれました。この日のために何度幹事会を開いた事か。全く先が見えず暗中模索の連続でした。全国の会員に金銭、寄付金の依頼も出しました。少しずつ形が見えて来て、この日のために約500万円の資金を確保できました。苦勞の甲斐があったというものです。幹事た

ただ感謝の念あるのみ
 稲光会・金子誠会長の話
 幹事諸君、全国の会員諸君の心からの御協力が無事、50周年式典を挙げてきました。また、その模様を伝える会報の同じ紙面で男子の1部復帰の快拳をお届け出来る事になり、2重の喜びであります。皆様、本当にありがとうございました。ただただ感謝の念あるのみです。

リーグ戦「リレー」方式導入

今年度のリーグ戦から「リレー方式」が導入されました。1チーム3人の総当たりという形式は変わりませんが、個々の得点が次の試合に加算され、最終的に45点(5本×9試合)先取したチームが勝者となります。第1試合は5点、第2試合は10点という具合に得点上限が設定されており、リレー方式で返した例もあり、最後まで気の抜けない団体戦となりました。

岡田千恵子、世界大会代表に



女子部主将の岡田千恵子(教4)が世界選手権(ユニバーシアード)の代表選手となりました。2月、5月に終わった国内最終選考会でその

個人、団体で名誉賞受賞



5月14日に行われた早大体育局表彰式が5月14日、大隈講堂で行

それぞれ3位、1位となったもので、世界選手権は7月12、19日ケープタウン(南ア)、ユニバーシアードは8月19、31日シニエー(イタリア)で開催されます。また10月20、22日南京(中国)で行われるアジア選手権にもナショナルチームの一員として出場します。

平成8年度稲光会総会報告

平成8年度稲光会総会が5月16日(金)、早大隈会館で約15人の出席者(委任状多数)を集めて開催されました。50周年記念式典の事業報告を初め年間事業報告、決算報告等が承認され、また金子会長を始め北原幹事長等執行部幹事会員の留任が決定、若手

川名監督に森村賞

平成8年度の日本フェンシング協会森村賞が川名宏美監督(写真)に贈られました。同賞は長年選手作りの第一線にいる指導者に贈られるもので、同監督の場合、昭和46年監督就任以来、一貫して現役を指導。その間に出野晴信(ソウル)、田中泰々絵(アトランタ)と2人のオリンピック選手を育てた実績が評価された。



川名監督

早慶戦50回記念大会

今年度の早慶定期戦は11月30日(日)三田中等部体育館で行われますが、昭和23年に第一回が開催されて以来、今回がちょうど50回目。当日は「第49回早慶定期戦」(平成8年11月、早大体育館

新入部員紹介します

今年度は、残念ながら男子部員の推薦入学はありませんでした。女子は有望選手が3人入学。未経験者ながら男子は1人で頑張っています。



飛鷹恵美



内田陽子



吉沢博己



八巻有香理

- ▽男子フルール
 - 早大8-1慶大
 - ▽同 エベ
 - 早大5-4慶大
 - ▽サーブル
 - 早大8-1慶大
- ▽女子フルール
 - 早大9-0慶大
 - ▽同 エベ
 - 早大7-2慶大
 - (通算は早大の31勝18敗)

- ▽内田陽子(うちだ・ようこ)
 - ①北九州市美萩野女子高校
 - ②社会学部96年高校総体フルール個人、団体で優勝④1部で優勝する事を夢見て頑張ります。
 - ①出身高校②学部③競技歴④抱負
- ▽飛鷹恵美(ひだか・えみ)
 - ①愛媛県立三島高校②社会学部95年ジュニア五輪カテ女子エベ優勝、同年パリ世界大会出場④明るく元気に頑張ります。
 - ▽八巻有香理(やまき・ゆかり)
 - ①山形県立米沢高校②教育③96年高校総体フルール個人8位④絶対に強くなりま
 - ▽吉沢博己(よしざわ・ひろみ)
 - ①埼玉県立川越高②理工④自分なりに挑戦します。

フルーレ、エペへ連続逆転劇！ 9年ぶりに1部復帰達成！

やったぞ、快挙達成!! 2種目そろっての1部復帰だ。平成9年度リーグ戦(4月20日〜16日、中大、駒沢体育館)で男子フルーレ、エペに優勝した早大は入替戦(同25日、東農大)でも拓大(フルーレ)、日大(エペ)を劇的な逆転で連破、9年ぶりに1部へ返り咲いた。リーグ戦最下位だった女子エペも中大に完勝して1部残留、今年の早稲田は将に守るも攻めるも入替戦だった。(写真提供 早稲田スポーツ)

エペ戦から入りましょう。なしろ早稲田50年の歴史でも例をみないほどの劇的な逆転勝利なのです。堀井、本間、川津と続いた1巡目は3試合とも3-5。従来の5本勝負方式だったから0-3と早くも大ピンチのケース。ベンチサイドでは「やっぱリダメか」の気持が出始めたものです。しかしピスト上の選手たちの闘志はいつこうに衰えません。新鋭川津のパワーあふれるアタック、エペのスペシャリスト堀井、本間は取られるとすぐ取り返す粘り強い展開。早く10点差以上の安全圏に逃げ込みたい日大に対し、ピツリと食いついて中盤から

みかパツと点灯したので、若いチームの波に乗った恐ろしさをまざまざと見せつけてくれた一戦でした。フルーレも苦しい展開でした。常に2-3点のリードを追う早大。勝利が見えたのはやはり終盤でした。エース堀井が9-2と4点差を引く

ら終盤へともつれ込んだので、3点リードされたの最終ラウンドは、まず川津が5-1で堀井にバトンタッチ。堀井も最終攻勢に出てダブルの連続。点差が変わらないままアンカー本間が登場。ここからが逆転劇の始まりです。巧みなポイントワークで40-39とやっポイント。そこから先は赤ランプ(日大)緑ランプ(早大)が交互に点灯してベンチは狂乱状態。44-43と先に王手をかけたのは日大でした。しかし焦りが見えませんでした。しかし焦りが見えませんでした。本間は冷静に狙い澄ましてピツリと同点狩。さらに相手を追い詰めます。敵陣深く前進してのアタック。緑ランプの



「ヨッシャーッ！」ポイント毎にベンチはガッツポーズで盛り上がる

入替戦スコア

女子エペ

試合順	早大	スコア	得点	得点	スコア	中大
1	岡田	5	5	3	3	岡田
2	水上	4	9	7	4	斉田
3	飛鷹	6	15	13	6	橋本
4	水上	5	20	17	4	岡田
5	岡田	5	25	18	1	橋本
6	飛鷹	5	30	24	6	斉田
7	水上	3	33	30	6	橋本
8	飛鷹	7	40	36	6	岡田
9	岡田	5	45	40	4	斉田

男子エペ

試合順	拓大	スコア	得点	得点	スコア	早大
1	秋山	5	5	3	3	堀井
2	吉野	5	10	6	3	本間
3	村井	5	15	9	3	川津
4	古部	5	20	16	7	堀井
5	秋山	5	25	19	3	川津
6	村井	5	30	27	8	本間
7	古部	5	35	32	5	川津
8	村井	5	40	37	5	堀井
9	秋山	4	44	45	8	本間

男子フルーレ

試合順	拓大	スコア	得点	得点	スコア	早大
1	楠本	5	5	4	4	岡村
2	金谷	5	10	8	4	堀井
3	戸畑	5	15	12	4	川津
4	金谷	5	20	18	6	岡村
5	楠本	5	25	21	3	川津
6	戸畑	2	27	30	9	堀井
7	金谷	6	33	35	5	川津
8	戸畑	0	33	40	5	岡村
9	楠本	3	36	45	5	堀井

[注] 表の読み方=得点欄はチームの合計点。左右のスコア欄は対戦者同士の個人スコア。名前は試合順に1人3試合ずつです。



夜の打ち上げも盛り上がりました

男子エペへ健闘！ 王座で2位に

平成9年度日本大学王座決定戦は7月7(主)8(日)の両日、京都・大山崎体育館で行われた。男子エペ、フルーレ2種目に出場した早大はエペで1回戦東北大を5-1、2回戦近大を5-3と連

を保持慎重な試合展開。中大に対し、点差はそれほど開きませんが、1度もリードを許さずゴールイン(45点目)したのでした。

リーグ戦
フルーレは敵なし。エペは日体大、サーブルは農大とのマッチレースというのが男子の試合でした。サーブルは涙を呑んだわけですが、エペは

昨年まで1部の日体大に競り勝ちました。がっぶり四つに組んで、押しつ押しされつの熱戦。殊勲は最終戦の本間で、エース神川に対し積極的に攻めて、攻め勝ったのでした。女子は岡田が勝つと

いう展開で、2種目とも苦戦の連続。1部リーグ定着の苦しみはこれから始まる事でしょう。

(監督・川名宏美)



女子エペも安定した試合運びで1部の座を確保



殊勲の決勝ポイントを挙げた本間邦彦(左)

リーグ戦成績

- 男子(2部)
フルーレ
○早 大45-10慶 大
○早 大45-8学習大
○早 大45-16青学大
○早 大45-16立 大
○早 大45-33東農大
○早 大45-5勝2敗①立
○早 大45-5勝3敗②東農大
○早 大45-5勝3敗③青学大
○早 大45-5勝3敗④立大
○早 大45-5勝3敗⑤立大
○早 大45-5勝3敗⑥慶大
- 女子(1部)
フルーレ
○早 大38-45専 大
○早 大37-45日体大
○早 大31-45日 大
○早 大30-45東女体
○早 大45-33日女体
○早 大45-5勝2敗①日大
○早 大45-5勝2敗②日体大
○早 大45-5勝2敗③東女体
○早 大45-5勝2敗④日体大
○早 大45-5勝2敗⑤東女体
○早 大45-5勝2敗⑥早大